

ビバハウス便り 新年特別号

2012年元旦

青少年自立支援センター「ビバの会」 ビバハウス

有限会社 青少年自立支援センタービバ

安達 俊子 安達 尚男

あけましておめでとうございます。新年にあたり、旧年中の変わらぬご支援に心より感謝いたします。どうぞ今年もよろしく願い申し上げます。お陰様でビバハウスは昨年9月1日、満11周年を迎える事が出来ました。

これもひとえに、皆様の物心両面にわたる御支援の賜物と改めて感謝致します。昨年1年も俊子、尚男共に任務に何とか耐える事が出来ましたが、年相当の衰えを自覚させられています。しかし、昨年は、ビバハウスにとっていよいよ成熟期を迎えるにふさわしい大きな実りのある年でした。8月から12月までに、若者自立塾の後継組織の厚労省の緊急人材育成・就労支援『基金訓練』（6ヶ月間）を4コース実施しました。10月24日には、ビバ11周年記念講演会を、森孝吉先生（内閣府NPO心のケアサポートセンター 理事長・静岡県）を迎え、北星余市高大会議室で120名の参加者で盛大に行うことが出来ました。

森氏は数奇な運命の体現者で、山口組3代目田岡組長直属の過去を持ちながら、実父殺害の罪での網走監獄服役中に宗教的救済を受け、現在は住職の資格（山梨県・真宗木辺派塩山寺）も持ち、自らの犯した罪の贖罪の為、ただひたすら犯罪者、非行青少年の更生のため挺身しています。森氏のお勧めもあり、最近協力関係を結んだ、町内の内田バラ園（素晴らしいバラ栽培技術で全道的に知られている）の敷地内に、今全国的に注目を集めている『樹木葬・墓苑』の建設計画を開始いたしました。

私たちとしては、ただの墓苑ではなく、もともと尊い命を自ら絶たざるを得なかった若者たちをこれ以上絶対に増やしたくないとの思いで始めざるを得なかったのがビバハウスの原点でしたから、彼らの霊を慰め、全国の若者たちの自殺未然防止の拠点を作りたいとの願いを持っています。この点につきましても、格段のご理解、ご支援をいただければと願っております。草刈、整地、お花や樹木の手入れなど若者たちの就労の場も目指します。

どうぞ今年も変わらぬご支援を下さいますよう重ねて御願いし、ご協力への感謝と近況のご報告とさせていただきます。